

平成 23 年度第 1 回 産業応用部門論文委員会主査会議 議事録 (案)

1. 日時 平成 23 年 3 月 29 日(火) 11:00-12:30

2. 場所 電気学会本部会議室

3. 出席者 (敬称略) : D1:3 名、D2:2 名、D3:2 名、D4:2 名、D5:2 名

大石 (編修長、長岡技術科学大学)、村上 (編修長補佐、慶應義塾大学)、藤崎 (前 D1 主査、豊田工業大学)、木村 (新 D1 主査、大阪工業大学)、船渡 (新 D1 副主査、宇都宮大学、記録)、森本 (新 D2 主査、東海大学)、高瀬 (前 D3 主査、摂南大学)、村井 (新 D3 副主査、東海旅客鉄道)、道木 (新 D4 副主査、名古屋大学)、亀井 (新 D5 副主査、三菱電機)、近藤 (新 D5 次年度副主査、千葉大学)

欠席 : 綾野 (新 D1 次年度副主査)、寺田 (前 D2 主査、徳島大学)、山口 (新 D2 副主査、リコー)、米谷 (新 D3 主査、三菱電機)

4. 提出資料

23-1-0 議事次第 (木村)

23-1-1 前回議事録 (案) (木村)

23-1-2 電子査読システム運用状況 (村上)

23-1-3 2011 年度論文委員会改選案 (村上)

23-1-4 2011 年度電子投稿システム引き継ぎ対応表 (案) (村上)

23-1-5 「紙上討論について」 (村上)

23-1-6 D 部門論文賞推薦書 (村上)

23-1-7 論文委員候補推薦用紙 (村上)

23-1-8 D 部門試行の新査読システムフロー (村上)

23-1-9 活動方針 (村上)

23-1-10 論文委員会幹事の役割 (木村)

5. 議事

5.1 議事録確認 (資料 23-1-1)

特に異議無く承認された。

5.2 電子査読システム運用状況 (資料 23-1-2)

D 部門誌への投稿件数 (2 月まで) D1:4 件、D2:4 件、D3:4 件。

英文論文誌は D1:1 件のみ。

共通英文誌については、D2 が昨年度減少した。掲載期間がかかるが、投稿を制限することは考えていない。また、共通英文誌は査読フローが D 部門誌とは異なり、従来どおりと

なるので注意されたい。

5.3 論文幹事改選（資料 23-1-3）

資料 23-1-3 について村上編集長補佐より説明があった。今年度は過渡的な体制であり、D1,D5 主査は兼任、D2,D4 主査は兼任となる。退任する幹事・副主査・主査の委員就任については、確認の上追記することとなった。また、次年度副主査については、D1 は綾野幹事、D3 は野口幹事であることを確認した。

また、部門大会論文委員長等役職の順番について、以下の順番で回すが、後日整理した表を回すこととなった。

2011 年度から D1,D2,D3,D4,D5 で回す

2011 論文委員長 D3 高瀬、意見交換会 D1 木村、YPC 担当 D2 森本

2012 論文委員長 D2 森本、意見交換会 D5 亀井、YPC 担当 D1 船渡

以下、D5,D4,D3,D2,D1 の順番に回す

各グループの固定役割（副主査が責任者）

D1 議事録・会場予約、D2 ホームページ、D3 英文誌

D4,D5 交互 編修広報委員会委員 2011 D5 亀井、2012 D4 副主査

5.4 引き継ぎ対応（資料 23-1-4）

資料 23-1-4 に従って編修長から説明があった。原則表の通り引き継ぐことになる。グループが変更となる幹事について、これまで担当している論文はそのまま担当する。移る幹事については両方の幹事のボタンが出るので旧グループの論文も担当可能である（例：D1 野口幹事→D3）。旧グループについては既担当論文以外は担当しない。（例：D1 主査は D3 に移行した野口幹事に新規論文を割り当てない。）

5.5 紙上討論について（資料 23-1-5）

資料 23-1-5 について編修長から経緯の説明があった。査読者を糾弾するような内容があったので、それを削除していただき、あくまでも著者に対する討論という形に書き換えてもらった。これで受け付けるということで承認した。

5.6 論文賞（資料 23-1-6）

資料 23-1-6 について編修長から説明があった。D1 と D2 の割当は論文数を考慮して決定し、D1：1 件、D2：2 件、D3：1 件の推薦を決定した。

5.7 論文委員候補者推薦（資料 23-1-7）

資料のとおり、6件の候補者が承認された。富樫氏は、特例として論文就任と同時に幹事就任となる（本来は幹事を1年経過後）。

5.8 査読フロー（資料 23-1-8）

資料 23-1-8 について編修長から説明があった。確認の上、修正点があれば指摘することとなった。査読者に幹事から趣旨を良く説明すること、できるだけ通す方向で進めることを確認した。

5.9 事業報告（資料 23-1-9）

事業報告について編修長から説明があった。平成21年度の記述を22年度に訂正して承認した。

5.10 論文委員会幹事の役割（資料 23-1-10）

木村主査から資料 23-1-10 について説明があった。ノウハウの蓄積であるので、適宜ブラッシュアップして幹事業務が円滑に進むように助けとすることとなった。

5.11 その他

編修長補佐から、再投稿時の再提出期間について地震の影響で3ヶ月から余裕を延長しているので注意願いたい旨の依頼があった。

5.12 次回予定

平成23年6月14日（火） 13:30-15:30 電気学会会議室

以上